

三陸復興国立公園 着地型企画 NO. MS04 級 ウォーク初		(GP) ジオパーク地球の息吹およびその自然遺産や生態系と人々の共生について学ぶ場所(大地の公園)	お楽しみ累積歩行距離		東京駅基点		
コース名	みちのく潮風トレイル分割踏破 約700km		NO	歩行km	累積km	東海道新幹線営業キロ	
	第2回寺下から小船戸海岸・種市・侍浜 41km3コース		01	9.35	9.35	新横浜	
	04寺下から白座遺跡・小船渡海岸・平内駅		02	19.74	29.09	28.8	
	歩行距離9.73km		歩行時間2時間50分	03	12.76	41.85	
	予備時間10分		全行程3時間40分	04	9.73	51.58	
	往路アクセス		階上駅1315-タクシ5km-1325寺下	05	18.72	70.30	小田原
復路アクセス	平内駅1720頃(1810頃)-JR-1800頃侍浜駅-宿送迎-侍の湯きのこ屋	06	12.35	82.65	83.9		
			福島県相馬市松川浦 約700		732.9		

白座遺跡に見る8000年前の食文化

昭和62年7月25日～8月12日にかけて発掘された縄文時代前期(約8000年前)の貝塚遺跡。当時の食生活を知るうえで貴重な資料となっている。植生は落葉樹林帯でミズナラ・コナラ・クルミ・クリ・トチノキ・ドングリの堅果類が主食となった。副食の自然遺物としては、発掘データベースから(貝類:クロアワビ、イシダタミガイ、クボガイなど16種類。魚類:サメ類・マダイ、マグロ類・カツオ・ブリ・スズキ・カサゴ科・アイナメ・ヒラメ。鳥類:キジ・ウミウ・ガンカモ科・カラスなど5種類。動物:ノウサギ・ムササビ・タヌキ・キツネ・イノシシ・ニホンシカなど7種類)。貝塚からは、骨を加工してつくった、ヘラや釣針、縄文土器、石器、土製品、骨角器が発見されている。県内でも大変貴重な遺跡です。階上町には縄文前期(白座遺跡)・中期(4000年前の野場遺蹟)・後期(約3000年前の寺下遺跡)などが発掘され、8000年前も、現在と同じ豊かで贅沢な食文化。私は、最近うまいものを食わないのでグルメ嗜好で縄文人に負けた気がする。今回は、大昔から今も食料倉庫としての役目を果たす階上町のルーツにふれるロマンウォークです。

道仏の大銀杏

道仏の大銀杏は母乳の出がよくなるといわれている。その大きさは国内最大級といわれる。樹高30m・目通り幹囲13m・推定樹齢300年以上で町指定天然記念物。集落名も「銀杏ノ木」。根元の小さなお社も「銀杏大明神」、銀杏が御神体で村のシンボル。「日本の巨樹・巨木林」によるとこの地に住んでいた、アイヌの人たちが財宝を埋めた場所の目印として植えたとする伝承がある。

赤石大明神と三陸大津波供養塔

寺下の観音様が牛の背中に乗って現れた所と言われる。この牛がいつまでも観音様にお伴をしたいと申し出て牛を赤い岩に化身させたのが赤石で、今も波間から見る事ができる。赤石大明神の境内には、これまでの津波に流された石碑が地域の人々により海から上げられ祀られています。奥には明治29年に起きた三陸大津波で亡くなった方々の供養碑が建てられており津波との関係の深さを感じられる場所です。

種市高校

潜水技術を修得できる海洋開発科のある国内唯一の高校。「南部潜り」を学んだ卒業生は世界の海で活躍中。

スタート 良縁安産の神 金勢大神水 13:35(湧き水)
 (A) 寺下 階上岳 1.74km 0:35
 (B) GP 白座遺跡 杉並木 茅葺屋根の家と田園風景

小船渡海岸と階上灯台

なだらかな芝生地と、昭和34年10月5日に初点灯された、高さ11mの小さめの灯台がよく似合う景観。青森県と岩手県の県境にあり昭和26年に建てられた「県境石」が海と陸に設置されている。灯台の隣に青森県最東南端の碑には県内で一番早く朝日が昇る場所と刻まれている。雄大な太平洋の展望が魅力。

千人塚供養塔 大和朝廷(平安時代)に征伐されたえぞ千人の首塚と言われる。

浜の鳥居

大海原に向かう鳥居は、はるばる海を渡ってくる神様の門口。海と共に生きる人たちが安全・大漁・無病息災を願って建てたもの。

